

最後の謎

①～③⇒いずれかの数字に入る鍵(番号が一致するとは限らない、余る数字に当てはまるものは考えよ)

$$1 + 2 + 3 = 1$$

④をもって計算を成立させる。

この時、

$$1 = \text{○} \text{○} \text{○} \text{○} \text{○}$$

$$2 = \text{○} \text{○} \text{○} \text{○} \text{○}$$

$$3 = \text{○} \text{○} \text{○} \text{○} \text{○}$$

最後の答え: ○ ○ ○

なお、問題文の丸がついていない数字は、同じ数字には同じ、違う数字には違うものが入る。

まずは、絶対に気づかなくてはいけないことがあります。二重矢印の存在です。これ、どこかで見たことありますよね? そう、「謎の文字列」です。つまり、二重矢印の先に「鍵」がある以上、入れるのは漢字一文字のはずですよ。

そして、次に気づかなくてはいけないのは4に四角がついていることです。わざわざ四角をつけているのは…そう、4に入れる漢字にはくにごまえをつけなければいけないということなんです。

ということは…まずは3つの答え「イースト」「ブッダ」「ボール」をすべて漢字一文字に訳しましょう。すると「西」「仏」「玉 or 球」になると思います。この中でくにごまえがつきそうなのは「玉」しかないですね。ということで、4に当てはまるのは「玉」ということになりそうです。…本当は存在しないもう一文字がくにごまえかもしれないですけどね、さすがに問題文がないと成立しないということは読んでいただきたいと思います。

後は実際に試していきましょう。正解の入れ方は以下のようなものでした。

$$\text{仏} + 2 + \text{西} = \text{仏}$$

国をもって計算を成立させる。

さあ、最後の壁はこの数式を理解することですが…国と漢字を一緒に考えれば、見えてくるのではないのでしょうか？
そう、この数式、2に「蘭」を入れると

$$\text{仏} + \text{蘭} + \text{西} = \text{仏}$$

となり、フランス＝フランスの漢字一文字となって計算式が成立します。しかし、これではまだ文字数が当てはまらない…と思った方。左辺をよーく見てみてください。何かに気づきませんか？

そう。この3文字、確かに合わせて「フランス」ですが、個々でも「フランス」「オランダ」「スペイン」と国名を表す漢字一文字になっているんです。これを考えると…うまくあてはまりそうですね。

ということで、正解は

1 = フランス

2 = オランダ

3 = スペイン

最後の答え：ダンス

でした。

…心配してる方いますか？大丈夫です。今回はひっかけはございませんよ。